

今週の富大生

# Weekly TOMIDASEI

第43号

理工学研究科 理工学専攻  
地球生命環境科学プログラム  
修士1年  
高崎経済大学附属高等学校  
(群馬県)

生物の未知なる生態を明らかにしたい



## 「好き」を突き詰める学問分野へ

幼い頃から生き物全般が好きでした。特に、種類が多く、生態のバラエティに富んでいる爬虫類や両生類が好きでした。進学するときは、好きな学問を突き詰める方が自分の身になると感じたので、生物学科がある大学を探しました。高校までほとんど関東で過ごしてきたので、全く違う土地で一人暮らしをしたいという気持ちもありました。両生類や爬虫類を研究対象にしている研究室があり、住んだことのない北陸地域に位置する富山大学を受験し、進学することにしました。

## 相談しやすい環境で やりたいことにつき進める

富山大学の理学部は先生方が学生のことをよく気にかけてくれて、研究や進路の相談がしやすいです。僕は両生類の研究がしたいと話していたところ、今野紀文先生もカエルの研究と一緒にしたいと話してくれました。研究室配属より前に研究室に出入りし、カエルの飼育を始めました。新しい生態を持つカエルの研究がしたいと思い、“子育てをするカエル”と言われているアイフィンガーガエルを研究対象にしました。

## 学会で最優秀口頭発表賞受賞

本格的な研究は、沖縄の石垣島へ行き、アイフィンガーガエルの観察をするところから始まりました。大体のカエルは勝手に成長していきますが、アイフィンガーガエルは産卵後にオスが卵を守ります。ふ化したら水たまり内でメスが未受精卵を水辺に生み落としてオタマジャクシを育てますが、これまで映像化されてきませんでした。今回、観察を通して映像化に成功しました。「飼育下におけるアイフィンガーガエルの繁殖行動と子育て行動の観察」というテーマで令和6年度日本動物学会中部支部大会で発表しました。最優秀口頭発表賞を受賞することが出来ました。

## 笹川科学研究助成に採択

研究室では生物を飼育して毎日観察しています。生物を対象にした研究にはお金がかかります。今回進めているアイフィンガーガエルの研究が「笹川科学研究助成」の採択が決まり、助成金をもらいながら研究できることになりました。飼育用の餌や、アンモニアを調べる装置を購入することができ、さらに研究に打ち込んでいきたいと思えます。

## 研究で培った力を社会で生かす

カエルの研究を通して、新しいことを模索し、飛び込んでいく力が身につきました。社会人になっても、新しいことにも挑戦していきたいと思っています。具体的なことは決まっていますが、仕事であれ趣味であれ、爬虫類や両生類と関わっていききたいと思っています。



## お世話になった高校の先生へ

先生が先導して行ってくくださったクラス会や課外活動が思い出となり、今でも財産になっています。最近になって学生時代の話を楽しそうにする先生の気持ちがわかってきました。高校時代の思い出を胸に今後も頑張っていきます！